

ビジネスの夢を共に育む

DIG 
plus

Vol.4
2025.9



“想い”も一緒に 受け継ぐ

特集 未来へバトンを繋ぐパートナー：事業承継ソリューション部

Client interview

株式会社 MIKI・ファニット

イベントレポート

AIディグる会

表紙：事業承継ソリューション部メンバー

Interview 「“ 想い ” も一緒に

社外報プロジェクト:以後「PJ」今日は事業承継ソリューション部の小山副代表に、会社の未来をつなぐお仕事についてお聞きます。さっそくですが、事業承継のご相談、最近はどんな傾向がありますか？

小山) やはり後継ぎ問題が年々身近なテーマになってきていますね。以前は『税金のことだけ相談したい』という方が多かったんですが、今は会社をどう守りたいか、どんな形でバトンタッチしたいかという想いの部分も含めてご相談が増えています。

PJ) 想いを大事にする承継、素敵ですね。でも一方で、現実的な課題も多いと聞きます。

小山) はい。たとえば役員借入金の問題や株価の高騰は、どの企業でも大きなテーマです。実際に、ある会社様では、株価が 20 億円超。もしそのまま相続が発生すると、半分が相続税に…なんて試算もありました。

PJ) えっ、10 億円が相続税で消える…？！

小山) はい。だからこそ、今、どんな選択肢があるのかを知ることが大事なんです。株価対策の方法だけでも、利益圧縮・退職金・組織再編・財団法人の活用・持株会・複層化信託…いろいろあります。メリット・デメリットをしっかりと比較し、何が会社とご家族にとって最善か一緒に考えます。

事業承継のプロとして

PJ) そういった複雑な相談、どこから手を付ければいいのかわからない方も多いのでは？

小山) まさにそこがプロの出番です (笑)。最初は現状把握から始めます。株価、組織図、ご家族の状況、許認可や不動産…ひとつずつ丁寧に整理して“見える化”することで、経営者の皆さまも『何を優先して動けば良いか』がクリアになります。

PJ) 会社の健康診断みたいですね。

小山) まさに会社の健康診断です。さらに最近は、親族だけでなく、従業員承継や第三者承

継を希望されるケースも増えてきました。親族内でバトンをつなげるか、外部の方に引き継ぐか、それぞれにリスクと選択肢がありますが、どちらも準備の早さがポイントです。

PJ) 早めの準備が重要なんですね。

小山) はい。M&A 時は第三者にしっかりとアピールできるように会社の磨き上げを行います。これも数年かけながら行うことになります。また、相続税の納税資金や代償金の準備をどうするかは、後継者の負担を大きく左右します。たとえば自社株の評価や配当、会社からの資金調達方法など、個別に最適なプランをご提案しています。承継後に資金繰りで苦労したという話は本当によく聞くので、事前対策が本当に大切です。

承継シナリオを作る

PJ) 実際の現場では、どんなご提案を？

小山) 承継コンサルの一例として、組織再編による株価対策もあります。会社を分社化したり、ホールディングス化したり、財務と法務を組み合わせる最も負担の少ない承継シナリオと一緒に作ります。もちろん、業種によっては許認可の壁や組織体制の調整など、チームで解決が必要なことも多いです。

PJ) どんな会社にも正解は一つじゃないということですね。

小山) 本当にその通りです。会社ごと、経営者ごとにベストな承継の形は違います。一番大事なのは、今の想いを言葉にしてもらうこと。そこから一緒に選択肢を探していく。



受け継ぐ」

DIG 税理士法人 副代表
兼 事業承継ソリューション部部长 小山 寛史

会社を残したいという気持ちに、税務や法務だけでなく、寄り添う姿勢を大切にしています。

PJ) 具体的に、承継対策の現場で“これは役立った”と感じたサポート例があれば教えてください。

小山) 実際には、こんな細かいことまで相談していいんだと驚かれるケースが多いです。たとえば、オーナーご家族の間で考え方が違う場合や、会社に残ってほしい従業員さんへの気持ちの伝え方まで、税務や手続きだけでなく、コミュニケーションの橋渡し役も務めます。ある現場では、経営者さまとご家族全員に個別面談をしながら、納得できる承継の形を一緒に探って行きました。あのおとき話せて良かったというお声は何よりの励みです。

事業承継のこれから

PJ) 小山さんご自身は、承継の仕事にどんなやりがいや価値を感じていますか？

小山) 事業承継は、経営者の人生そのもの。『家族や従業員に感謝を伝えたい』『自分が築いた会社を守ってほしい』という想いの整理をお手伝いできるのが、この仕事の大きなやりがいです。時には厳しい局面や、関係者の意見の違いに悩むこともありますが、そのひとつひとつが会社の未来を守る一歩だと信じて向き合っています。

PJ) 今後、部として取り組みたいチャレンジや、さらに強化したいサービスがあれば教えてください。

小山) 事業承継のプロとして、相続や税務だけでなく、M&A や組織再編など幅広いテーマでワンストップの提案力を磨いていきたいです。全国の経営者さまが気軽に相談できるパートナーとして、社内外の専門家と連携しながら新しい価値を創っていきます。会社のこれからに悩む方の力になれるよう、情報発信や勉強会、個別相談の機会もどんどん増やしていきたいですね。

読者へのメッセージ

PJ) 最後に、社外報の読者である経営者・担当者の皆さまにメッセージをお願いします。

小山) 事業承継は、先送りにしたくなるテーマかもしれませんが、でも、どんな一歩でも踏み出せば、必ず未来は開けます。どこから手を付けていいかわからないというご相談こそ、大歓迎です。ご自身やご家族、会社の未来のために、ぜひ気軽にご相談ください。一緒に想いも会社もつなぐ承継を実現しましょう。

DIG 税理士法人 副代表 兼 事業承継ソリューション部部长 小山 寛史

西南大学大学院を卒業後、2年間の実務経験を経て税理士登録。資産税専門の事務所にて、相続、相続対策、事業承継コンサルティングに従事する。その後、アーリークロス会計事務所を設立し、法人化のタイミングで税理士法人アーリークロスの副代表に就任。勤務時代に培った知識と経験を活かし、同法人内に資産税部門を創設。さらに、資産に関する一貫したサービスを提供するため、アーリークロス不動産株式会社を設立し、代表取締役役に就任。2025年5月よりDIGグループへ社名変更。税理士の他、行政書士の資格も持つ。





事業承継ソリューション部

～大切な“事業”と“想い”を、次世代へつなぐ伴奏者～

築き上げた歴史と想いを絶やさず、
企業の未来を共に切り拓くために、
全力で事業承継をサポートします。



大切な事業を守り、未来へバトンを繋ぐパートナー

事業承継ソリューション部は、税理士・金融機関出身など、事業承継に精通した多様なメンバーが在籍しています。事業がスムーズに、そして、より良い形で承継できるように、実践的かつ親身にサポートします！

サービス内容と特徴

事業承継コンサルティング

- 組織再編による株価対策
- 従業員持株会の組成
- 事業承継税制の活用
- 種類株式、民事信託の活用

《期待される効果》

- ◆ 株式の承継を通じてオーナー一族の円滑な相続を実現
- ◆ 株価対策による企業の財務基盤の安定化
- ◆ 後継者が安心して継いでいけるようなガバナンスの構築

相続コンサルティング

- 不動産法人化の検討、実行
- 遺言、民事信託による争族対策
- 生命保険、不動産小口商品の活用

《期待される効果》

- ◆ 争族 / 節税 / 納税資金対策のバランスのとれた対策が可能
- ◆ 不動産法人化によるキャッシュフローの安定化
- ◆ 次世代へより多くの手取りを残すことが可能

M&A・MBO コンサルティング

- 承継方法に応じた最適な
ストラクチャーの構築
- 実行時のファイナンス計画策定
- 企業価値評価（バリュエーション）

《期待される効果》

- ◆ 第三者承継の実現
- ◆ ストラクチャー構築による承継時のコストカット
- ◆ グループ会社を通じたワンストップサービス

少数精鋭のプロフェッショナルなチーム



部長
Y.KOYAMA



課長
N.SERI



税理士
S.TSUNO



課員
Y.CHIBA

チームで支え合う働き方

私たちの仕事は出張対応など、現場での臨機応変な対応力が求められる一方で、一人で完結させないチームワークが根付いています。

少数精鋭の中でも、メンバー同士のリスペクトと信頼関係が強く、困難な局面でも互いに支え合う文化があります。時にはお酒の場で事業承継の理想を熱く語り合い、個人や組織の未来を語ることも。そんな日々のコミュニケーションが、チームの一体感や仕事への情熱の源になっています。



事業承継ソリューション部の信念

《高付加価値サービスの創出を目指して》

私たち事業承継ソリューション部は、「高付加価値サービスの創出」を中核的な信念として掲げ、日々進化を続けています。企業経営者の皆さまが直面する多種多様な事業承継の課題に対し、確かな知識と豊富な経験に裏打ちされたソリューションを提供することこそが、私たちの責務であると考えています。

現代の事業承継は、親族内承継のみならず、従業員承継、第三者承継（M&A）など、その形態が多様化しています。こうした複雑化・高度化するニーズに的確に応えるために、私たちは法務・税務・財務・人事など、幅広い領域にわたる専門知見を常にアップデートし、部門横断での連携体制を整えています。お客様の立場に深く寄り添い、一人ひとりの想いや企業の歴史を尊重しながら、最適な承継プランをオーダーメイドで構築していくことを大切にしています。

また、単なる問題解決にとどまらず、その先の成長・発展を見据えた戦略的な提案を行うことで、お客様にとって真の「付加価値」となる支援を提供していきたいと考えています。そうした姿勢は、多くの経営者様からの信頼へとつながり、私たち自身の誇りにもなっています。



業務が変わる、経理が変わる。

クラウド会計のスマート仕事術

【クラウド会計のスマート仕事術 全4回シリーズ】

- 第1回：クラウド会計を活用する意義
- 第2回：マネーフォワード会計の自動仕訳ルール活用法（今回）
- 第3回：freee会計の自動登録ルール活用法 基本編
- 第4回：freee会計の自動登録ルール活用法 応用編



具体的な使い方はとっても簡単！

1. 自動仕訳ルールを登録する

【自動で仕訳】>【連携サービスから入力】の【通帳カード他】では、マネーフォワード会計が推測した勘定科目には雲マークがついています。仕訳を登録する際に正しい勘定科目・補助科目・部門・税区分を適宜入れ直して「登録」します。そうすると、その内容がそのまま「自動仕訳ルール」として登録されます。

複合仕訳にする場合は「詳細▼」をクリックして仕訳を作成し、「自動仕訳ルールとして保存」にチェックを入れて、仕訳を「登録」します。

2. 次回以降の仕訳に自動反映！

マネーフォワード会計が同じ条件の取引を自動で判定し、仕訳を提案してくれます。

3. 内容を確認して仕訳登録するだけ

正しく適用されるルールが増えてきたら、目視でチェックした後、複数の仕訳を選択し「一括登録」でまとめて登録することも可能です。

時々見直して精度をUP！

【通帳カード他】画面の右上「▶自動仕訳ルール」より、登録済みの自動仕訳ルールの確認と修正が可能です。

1. 明細の一致条件の見直し

初回の登録では、明細の一致条件が「完全一致」になっていますが、それを「部分一致」に変更することでより汎用性を向上させる場合があります。

2. 誤って登録されている内容の修正、変更になった場合の調整

誤りの修正や変更時の調整など、時々見直して、自動仕訳ルールの精度を高めましょう！

詳しくはサポートページをご確認ください。

次回は「freee 会計」の実践編！ freee 会計の自動登録ルール基本編をご紹介します！



税が変わると、暮らし、ビジネスが変わる

税の新常識アップデート講座

今月の
テーマは…

電子帳簿等保存制度の改正について

Check

電子帳簿保存法とは、国税関係の帳簿や書類を電子的に保存する際の要件等について定めた法律です。制度改正の要件を改めておさらいします。

電子帳簿保存法の区分は 3 種類

- ▶ 電子帳簿等保存：電子的に作成した帳簿や書類をデータのまま保存
- ▶ スキャナ保存：紙で受領・作成した書類をスキャンしてデータで保存
- ▶ 電子取引：取引先と電子データでやりとりした書類を電子的に保存

制度改正で
何が変わったの？

このうち、2024 年 1 月から完全に義務化されたのは「電子取引」です。「電子帳簿等保存」「スキャナ保存」に関しては、電子保存は任意となっています。改正についてはどの区分の話なのかを理解するのがポイントです。

1. 「電子帳簿等保存」「スキャナ保存」に関する改正

◎事前承認制度の廃止

改正前は、事前に税務署に届出を行う必要がありましたが、それが廃止され任意のタイミングで電子保存を始めることができるようになりました。



2. 「スキャナ保存」「電子取引」に関する改正

◎タイムスタンプ要件緩和

改正前は、3 営業日以内に受領者等が自署した上でタイムスタンプを付与する必要がありましたが、改正後は期限が最長 2 ヶ月と 7 営業日以内に延長されました。「スキャナ保存」に関しては、保存データの改ざんができないシステムや履歴が残るシステムを利用していればタイムスタンプの付与自体が不要となりました。

◎検索要件等の緩和

電子保存したデータは一定の条件で検索できるようにしておく必要がありますが、改正によって満たすべき要件が緩和されています。

3. 「電子取引」に関する改正

◎電子取引における電子データ保存の義務化

電子取引を行った際の書類について、改正前は紙に印刷して保存することが認められていましたが、2024 年 1 月からは電子データで保存することが義務付けられました。

Point

電子帳簿保存法に違反した場合、重加算税の加重や青色申告の取り消しなどの罰則を受ける可能性があります。システム導入もサポートしておりますのでお気軽にご相談ください。

MIKI・ファニットとは？

ZERO TO HUNDRED

－ 0歳から100歳まで、人生を動かす学び場へ。

MIKI・ファニットは、

「幹（MIKI）＝芯の強さ」を
育て、「FUN（楽しさ）とFIT
（心・体・元気）」を届ける、
福岡発の運動・教育サービス
企業です。



- ・子育て世帯からシニア世代まで、全世代の Well-being 向上を目指す
- ・運動と探求活動による「生涯教育」と「地域貢献」の2本柱
- ・保育園・幼稚園・学校・商業施設・高齢者施設など多様な現場で展開
- ・専門性と楽しさを両立した指導で、非認知能力や社会性も育成
- ・「グランチア」「チア Life」など、地域・福祉領域での活用も広がる

MIKI・ファニットならではの特長

年齢差 85 歳の多世代チームが生み出す、地域の新しいつながり。子どもとシニアが一緒に踊る。

幼児と 80 代の女性が、同じステージで笑い合う。

MIKI・ファニットでは、そんな奇跡のような日常が生まれています。

私たちは、運動を「技術」ではなく「関係づくり」の手段として活用しています。応援すること、されることの喜びが、世代を超えて心をつなげていく。そのつながりが、地域の新しいエネルギーになっています。

人生 100 年時代に必要なのは、体力だけではなく「関わり続ける力」。MIKI・ファニットは、体を動かすことで心も社会ともつながる、新しい時代の生涯共育型の運動スクールです。

創業者インタビュー

代表取締役 古庄 美樹（ふるしょう みき）

株式会社 MIKI・ファニット 代表／九州大学大学院 芸術工学研究院 博士課程在学中

－ 創業のきっかけ

「もともとは、自分の子どもと一緒に始めた親子体操が発点です。

運動が得意な子だけでなく、苦手な子こそ楽しいから入ってほしい。

そんな思いで、商業施設の一角で教室を始めました。」



－ 地域とのつながり

「MIKI・ファニットは、地域の方に助けられ、育てていただいた会社です。

地域イベントや高齢者施設などでも活動の場を広げ、今では応援で元気をつなぐ存在として、多世代から声をかけていただけるようになりました。

これからは、地域に元気を返す番だと思っています。」



－ 現在の取り組みと未来への展望

「現在は子ども向け教室に加え、50 代から 80 代の女性が活躍するグランチアや、介護現場でのチア Life といった、シニアや福祉の領域にも力を入れています。

福岡市との共同事業では、介護職員の離職防止や、現場

のウェルビーイング向上に取り組んでいます。

また私自身、九州大学大学院でインクルーシブデザインや感性学を専門に研究を続けており、MIKI・ファニットのプログラムが心や社会に与える効果について、科学的に検証しています。

楽しいから続く、応援されると元気になるという体験を、データと研究で裏づけることで、より多くの方に安心して導入していただける仕組みへと進化させています。未来は、運動を超えて人生を豊かにする場を全国へ、そして世界へ広げていきたいです。」

📌 プログラム紹介（一部）

プログラム名／対象年齢／特徴

◎親子ファニット

0～3歳／親子で楽しむ感覚統合×運動

◎キッズファニット

幼児～小学生／運動・表現・非認知能力を育む

◎グランチア

0代～80代／チアダンスで地域とつながる

◎チア Life

高齢者・介護職／応援でつながる健康経営支援

◎法人向け研修

一般・企業／福利厚生・SDGsにに応える研修も実施

▶ チア Life プログラム紹介サイトはこちら

<https://www.mikifunnit.com/cheerlife/>



◆ 保護者の声

「娘はもともと引っ込み思案で、体育が苦手でした。でも MIKI・ファニットに通い始めて、今日は新しいステップができたよ！と嬉しそうに話してくれるように。ファニットごっこをして、家族で笑い合う時間が増えました。」

◆ 子どもの声

「みんなで一緒にがんばるのが楽しい！」

先生がすごいね、がんばったねって言ってくれると、また挑戦したくなる！」

◆ ファニット流・学びと成長の秘密

できる・できないではなく、「やってみよう！」の気持ちを大切に

1. 小さな成功体験を積み重ねることで、自己肯定感と挑戦力を育てる
2. 指導者は心に火をつける応援者として、共に喜び、共に成長する存在
3. 年齢や発達段階に応じた声かけと工夫で、「その子らしさ」を引き出す
4. シニアにも応援される・する関係性を通じて生きがいと役割を提供



／ 体験レッスン受付中！ ／

初心者の方、運動が苦手な方も大歓迎！

まずは「楽しい！」から始めてみませんか？

▶ 詳細・お申し込みは公式サイトへ

【MIKI・ファニット公式 HP】

<https://www.mikifunnit.com>



【編集後記】

生涯共育をモットーに掲げ、ご自身も大学院で研究を続けていらっしゃる MIKI さん。その前向きな姿勢から、「きっと MIKI さんなら、介護という社会課題にも明るく取り組み、笑顔で道を切り拓いていけるだろう」と強く感じました。



イベントレポート

AIディグる会

主催者インタビュー

弊社主催によるライトニングトーク (LT) イベントを初めて開催いたしました。
今回のテーマは「AI ディグる会」です。



DIG合同会社
SPD部 AX課課長
金 承鎬

開催の背景～準備

—— 今回の「AI ディグる会」ってそもそもどんな会だったんですか？

AI 活用事例を共有する会です！

—— 企画した理由は何ですか？

AI の活用方法について頭を悩ませていたところ、他の会社はどうしているんだろうというところからそれぞれの活用事例を共有する会を開こうという趣旨で企画をしました。

—— 今回の「AI ディグる会」の一番の特徴は？

LT 会形式で行ったので短時間で色んな会社の AI 活用事例を聞けるところが特徴だったと思います。

—— 準備するうえで特にこだわったポイントは？

登壇者ですね！ “あの会社の話が聞きたい” と思うところにとことん声をかけてまわりました。

開催当日～振り返り

—— 当日はどんな方が参加されたたんですか？

登壇者として、DIG グループでは、私の他に株式会社グループウェブの西さん、DIG コンサルティング株式会社の迫田さんが参加しました。外部からはシカジロ合同会社様、株式会社プレラナ様、株式会社マネーフォワード様、NOT A HOTEL 株式会社様、GMO ペパボ株式会社様に参加頂きました。

参加者は、合同会社 TANOSYS 様、株式会社 RANDOM 様、株式会社 LayerX 様、株式会社ロバストプラン様、フリーランスエンジニアの方に参加頂きました。





—— デモンストレーションはどんなことをやったんですか？

AI を使ったコーディング、マーケティング調査、音声認識、動画の要約とマインドマップなどをしました。

—— 印象に残った内容はありましたか？

GMO ペパボさんは AI を活用して顧客対応に切り替えて今まで顧客対応していた部門をなくしたそうです。

—— 特に盛り上がったポイントや面白いアイデアはありましたか？

問い合わせ対応は AI に任せたいと思いました。

—— AI 活用でどんなことが課題となっていると思いますか？

そもそもどんな活用方法があるかわからない、色んな AI がありすぎて何をすべきかわからない、わかったとしても全体が活用してくれない、常にアップデートが多くて追いつけないとかだと思います。

—— 参加者からはどんな反応がありましたか？

「楽しかった！」とか「また参加したい！」という声が多かったのと「他社事例が知れてよかった」「次回は登壇したい」などがありました。

—— 新たな発見や気づきはどうでしょうか？

想像以上に参加したい方、登壇したい方がいることがわかったこと、みなさん使い方が違うところが新しい発見と気づきでした。

—— 今回のイベントが今後の AI 活用にどんな影響を与えてほしいと思いますか？

新しい取り組みにチャレンジするきっかけになったらいいと思います。

今後について

—— 今後もこうしたイベントは開催されますか？次はどんなテーマでやりたいですか？

可能であれば、次回も開催したいです。次も同じようなテーマにするか、もしくはもっと深堀する形でハンズオン形式で実際に一緒に触りながら実感する形でもいいなと思っています

—— AI の未来について、個人的に楽しみにしていることがあれば教えてください

1 人のキャパシティでは何事にも時間がかかり、優先順位を決めて何かをあきらめないといけなかったのですが、これからは自分が思っている「やりたい」がすべて実現できる未来を楽しみにしています。

—— AI 苦手と思ってる人はまず何から始めたらいいでしょうか？

まずは、普段の悩みや疑問などを AI に話すところから始めると自然と触れる機会が増えると思います。

—— 「AI を使ってみたい！」と思っている方へのアドバイスをお願いします。

① **まず使ってみましょう！ツールはどれでも OK です。**

② **使い道を難しく考えない**

「AI は特別なことをするためのもの」と思いがちですが、日常業務の小さな作業で十分です。

資料の文章の言い換え、メールのたたき台作り、会議の議事録要約、アイデア出しの壁打ちなど

「何に使えるか」より「どう使えば楽になるか」を探すと良いでしょう。

③ **100 点を求めない**

まだ 100 点の回答をもらえるものではありません。最後は人間が判断するものだと思って最初の 60-70 点をやってくれるものとして使いましょう。

④ **自分の業務で使える場面を探してみよう**

「AI を使う」ではなく、「自分の業務を楽にする道具」と考えると使いやすいと思います。

AI で「何ができる？」ではなく、「まず何をやらせてみよう？」という気軽さで始めてみましょう。

第2回「AIディグる会」開催決定！！

2025年10月10日(金) 18:30~20:00

開催場所：DIG税理士法人セミナールーム

詳細は近日中に DIG 税理士法人のホームページのセミナー情報ページにてお知らせいたします。

相続無料個別相談会のご案内

相続の不安、専門家と一緒に解決しませんか？

相続税がかかる？生前贈与ってどうすればいい？

そんな疑問に、税理士・司法書士などの相続専門家が無料で応える個別相談会を開催中です。

▶毎週金曜（完全予約制・1組 30分）

▶会場：大阪・福岡・鹿児島・那覇（週替わり）

▶相談費用：無料

▶特典：相続税「簡易試算レポート」

これまでに1,400件超の相談実績！

ご本人だけでなく、ご家族での参加も歓迎です。

まずはお気軽にお問い合わせください。

▶お申し込み

電話（tel.0120-505-219 受付時間：平日 9時～18時）

WEB予約（弊社ホームページよりご予約いただけます。）

主催：みんなの相続テラス（DIG グループ）

担当：税理士 玉置 正和

育児休業まるわかりセミナー

こんなお悩みありませんか？

①育児休業予定の社員がいるが、対応方法がわからない

② 2025 年の法改正について準備ができていない

③育児休業に関する社内規程がない

▼おまかせください！DIG が解決します。

①妊娠～育休～復職まで時系列に沿った説明でわかりやすい

②よくある質問や勘違いポイントも含めて解説

③最新の法改正に対応

☆参加者だけの特典もご用意

▶開催日：2025 年 9 月 19 日（金）

▶時間：15:00～16:00

▶場所：オンライン（zoom）

対象者：DIG社労士法人顧問先様（事業主or労務担当者）

※内容が会社向けになりますので、一般の従業員様のご参加はご遠慮ください

▶問い合わせ先：貴社を担当しているDIG社労士法人のスタッフにお尋ねください



Insurance 損害保険を見直しませんか？

現在損害保険に加入されているお客様！

損害保険は相見積を取ることで、同じ保障内容であってもお安くなる場合がございます。

以下に当てはまる方は、ぜひご相談を！

・1社からしか見積もりをとっていない

・更新後の保険料が値上がりした

・今まで一度も保険請求を行ったことがない

・内容がよく分からない

・相談できる担当者がいない



DIG 税理士法人では、保険の総合代理店から複数社の相見積を取り寄せることが可能です。

ご相談は無料です。見積を頂いても、ご契約して頂く必要はございませんので、お気軽にご相談を！



読者アンケートのお願い

9月号アンケートからピックアップ

今後、DIG +で特集してほしいテーマはありますか？

ご回答
フォームは
コチラ▶



「もっと読みたくなる DIG +」を目指しています！
ご意見・ご感想をぜひお聞かせください。

ご回答頂いた方
みなさまに DIG グッズを
プレゼント！

